

「応援される人・学校になっていきたい」

平成28年という年がもうすぐ終わります。平成28年は本校にとって忘れられない年になりました。それは、**出雲高校初となる野球部甲子園出場**が叶った年であるからです。また、初出場ということでは、**第6回科学の甲子園全国大会**に島根県予選を勝ち抜いた2年生6名からなるチームが県代表として**初出場**します。文武に亘る、初出場に代表される**生徒諸君の頑張り**を大変嬉しく思っています。

一寸数字の話になりますが、18,046人。何の人数か分かりますか。これは、この夏の本校野球部甲子園出場に際しご寄附いただいた方の人数(件数)です。1万8千人(件)。寄付総額は、出雲市からの補助金を含め1億5千4百万円強。ものすごい数字です。これだけの方が、出雲高校野球部ありがとう!頑張り!&出雲高校頑張り!と寄付して下さいました。この夏、ご寄附いただいた方をはじめ、実に多くの方が、私たち出雲高校を応援して下さいました。これからの時代を担う若者、その若者を育てる本校の教育に大きな希望を見だし、応援して下さいました。

「応援される人になる」「周囲が応援したくなるような人になる」。それを意識していると、自分が普段どうあればいいか、その在り方も見えてくるのではないかと思います。私自身は、「出雲高校が周囲から**応援される学校**」であるためにはどうすればいいかを、普段考えるようにしています。

「人生、意気に感ず」という良い言葉があります。人は利害や打算で行動するのではなく、**相手の心意気に感動して動くもの**だということです。本校を応援して下さいました皆さんの心意気に感じ、**出雲高校一体となって、応援される人・学校になっていきたい**というのが私の思いですが、皆さんどう受け止めますか?

また本校は、文部科学省からSSH・SGHの事業指定を受けて、多額の予算措置をいただいています。この予算で、たくさんの講師に来てもらったり外へ出かけたり、課題研究など多彩な活動を進めることができます。当然、こういう事業指定を受けてない学校にはこんな予算はありません。どうしてこんな予算が付いているのかというと、これからの時代を切り拓いていく若者を育てて行くにはどんな教育をしていけばいいのか、一つのモデルとして研究開発を下さい、出雲高校頑張り!という予算です。

「使命感」という言葉がありますが、**人の情熱や行動を生み出す原動力の一つが使命感**です。生徒である君たちにはちょっと縁遠い言葉だとは思いますが、こうして付けてもらっている予算を有意義に使って、**世の中に還元できるようにしていかなければ**と思っていますが、皆さんはどう考えますか?

さて、廊下や教室にSSH・SGHのポスターを掲示しました。その中にキーワードが3つ示してあります。意識して見たことがありますか?**「自立・協働・挑戦」**です。自立した個人が協働することで、新たな価値を創造するという大きな挑戦をしようということです。まさに、**協力は掛け算**です。**「自立した個人であること」「他者と協働できること」「挑戦する気概を持つこと」。**これは**周囲から応援されるための大きな要素**です。「自立・協働・挑戦」と呪文のように唱えていると、来年良いスタートが切れるんじゃないかなと思います。

数学者の^{ひろなか へいすけ}広中平祐氏は、「**挑戦には情熱と理性が必要である**」と言っています。情熱がないと始まらないけど、情熱だけではダメ。情熱を活かすためにはコントロールする理性が必要ということです。理性の説明は難しいですが、**思考力や判断力、表現力**にあたるものとも言えます。

挑戦に必要な情熱と理性。今の出雲高校生には、SSH・SGHの事業も通じ、この二つが備わりやすい、挑戦の素地に恵まれていると思いますが、違いますか?

君たちの頑なりに期待するような話をしてきたので、君たちはもう食傷気味でしょうか。最後にもう一つだけ。これまでを振り返って素晴らしいと感じることが多かった一方、幼稚で社会性に欠け、相手への想像力が欠け他者を傷つけることになる事象も幾つかありました。こんなことを言ったら、こんなことをしたら周囲が相手はどう思うか、**ぜひ想像力を養い、視野を広げていって下さい。**

2学期始業式では、「**準備と継続が挑戦のための、成功のための大きな鍵**である」と話しました。3年生、自分にできる**最高の準備を継続**して、受験に立ち向かっていって下さい。**応援しています。**少し早いですが、みなさん一年間お疲れ様でした。どうか、良い年をお迎え下さい。

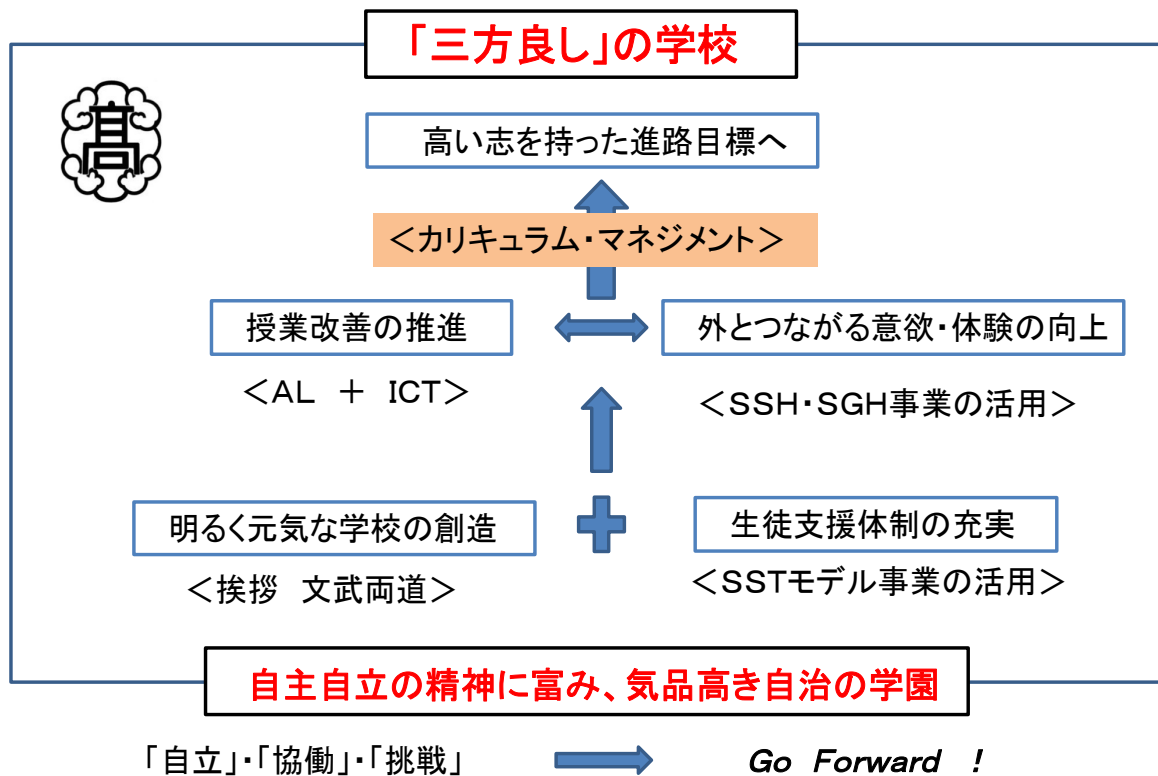
「応援される人・学校になるために」



「こうありたい出雲高校のイメージ図」

H28年度学校経営方針イメージ

出雲高校のミッション:「地域・社会のリーダーとして貢献できる人材の育成」



※ 「三方良し」

生徒：出雲高校で学んで良かった

保護者：出雲高校に行かせて良かった

教員：出雲高校に勤めて良かった